











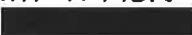









業 務 報 告 書

所長	副所長兼 総務部長	次長 (総括)		水産漁港 部長	漁港整備 専門監	次長 (総括)	技術次長 (総括)	技術次長 (技術指 導・調整担 当)
								
				漁港漁場 第一班長	副班長	班 員		
								 

件名	気仙沼漁港 魚町地区防潮堤 地盤隆起に対する対応について		
年月日	平成30年3月12日	場所	気仙沼地方振興事務所
出席者	・気仙沼地方振興事務所 水産漁港部 工藤専門監、軽部総括、今野班長、千葉副班長、二階堂技師 ・コンサルタント：(株)日本港湾コンサルタント    ・受注者①：小野良・佐藤庫組復旧復興建設共同企業体    ・受注者②：日本自動機工(株)東北支店 三品支店長、  		
配布資料等	別添のとおり		

業 務 報 告

(概要)

気仙沼漁港南町地区防潮堤(魚町工区)について、地盤隆起22cmが反映されていない形で現地施工されており、当該地区については計画決定時に高さについてシビアだった地区であり、地盤隆起分も下げるように要望されていることから、部分的に完成した施設の修繕(嵩下げ)も視野に入れ、これまでの時系列確認、問題点の抽出また、費用負担が生じる可能性がある旨を各関係者へ説明したものの。

(内容)

(修正設計担当業者：(株)日本港湾コンサルタント)

13:32～

(事)

(コ)
(事)

(コ)
(コ)
(事)

(コ)
(事)

(事)

(事)

(コ)

(事)

(コ)

(事)

(コ)

(コ)

(事)

(コ)

(コ)

(事)

(H27県債海交復気-002号受注者②：日本自動機工(株)東北支店)

14:45～

(事)

(②)

(事)

(②)

(事)

(②)

(②)

(事)

(②)

(②)

(事)

(②)

(事)
(②)
(事)

(②)

(H27県債海交復気-A01号受注者①：小野良組・佐藤庫組復旧復興建設共同企業体)

15:50~

(事)
(①)
(事)

(事)
(①)

(事)

(①)

(①)
(事)

(事)

(①)

(今後)

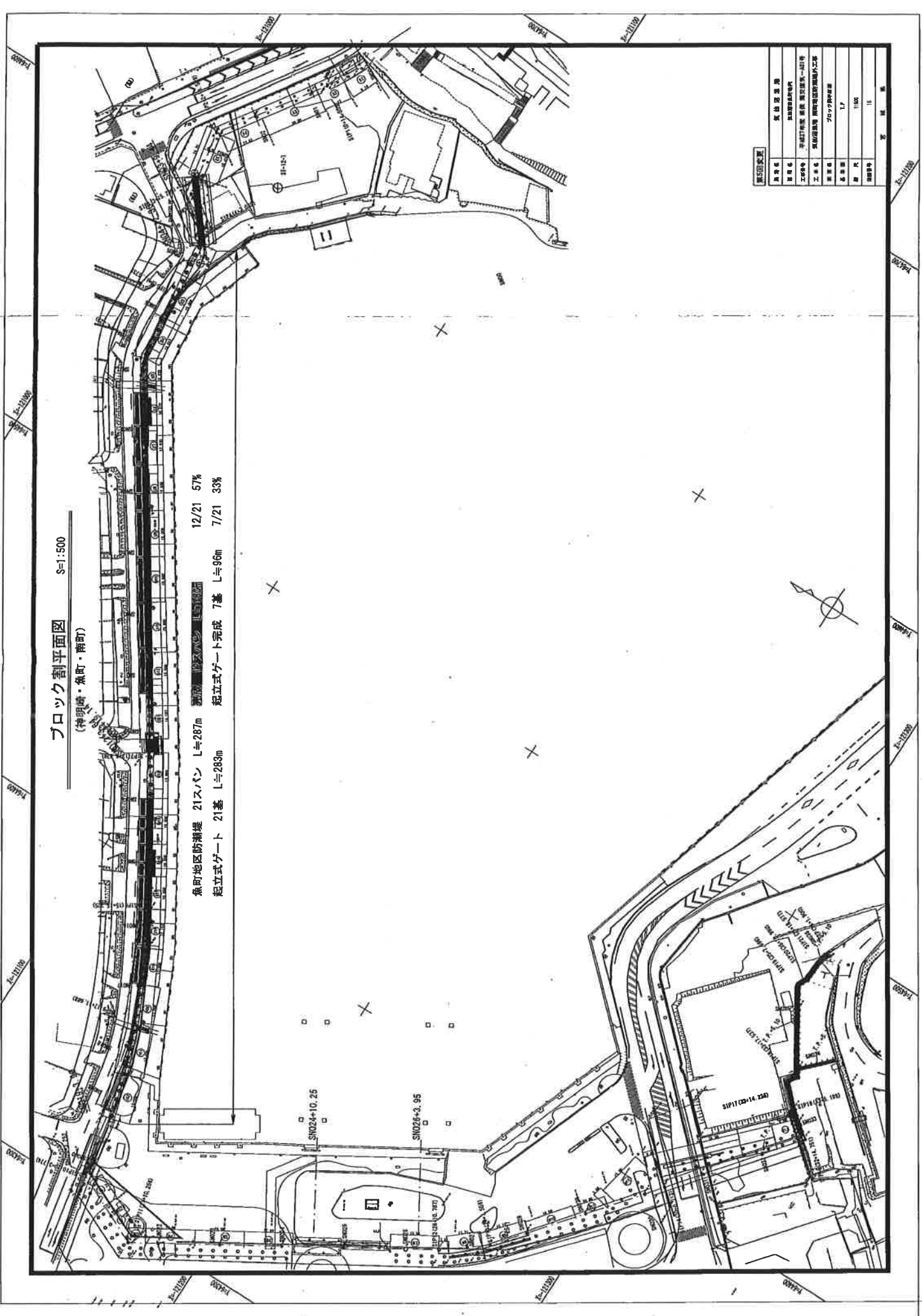
以 上

ブロック割平面図
(神明崎・魚町・南町)

S=1:500

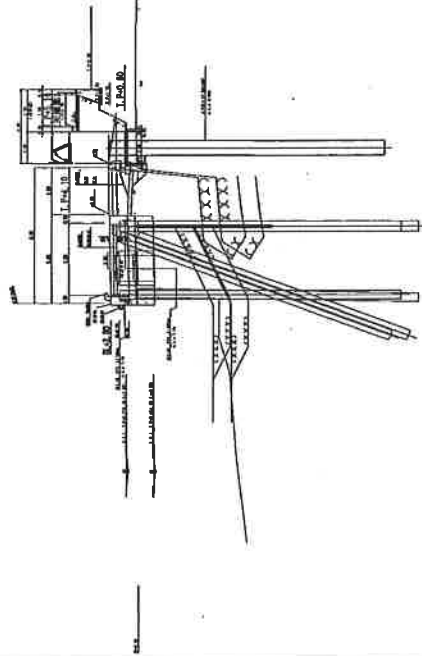
魚町地区防波堤 21スパン L=287m 12/21 57%
 起立式ゲート 21基 L=283m 7/21 33%

第5回変更	
図号	魚町防波堤
図名	魚町防波堤
工務局	平成17年度 港湾 漁業振興事業一団等
工事名	魚町防波堤 防波堤改修工事
事業名	港湾防波堤
事業種別	LP
設計者	106
図面番号	11
製図者	

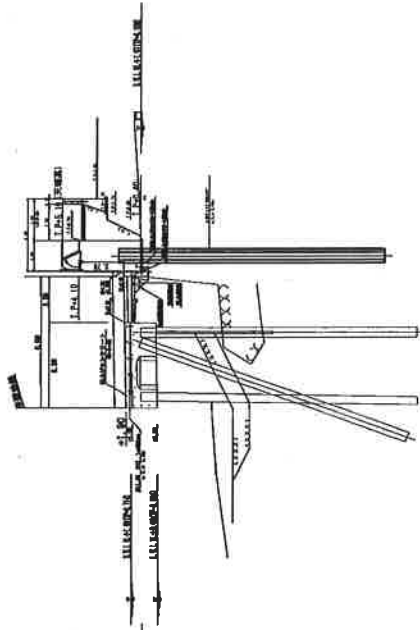


標準断面図 S=1:150

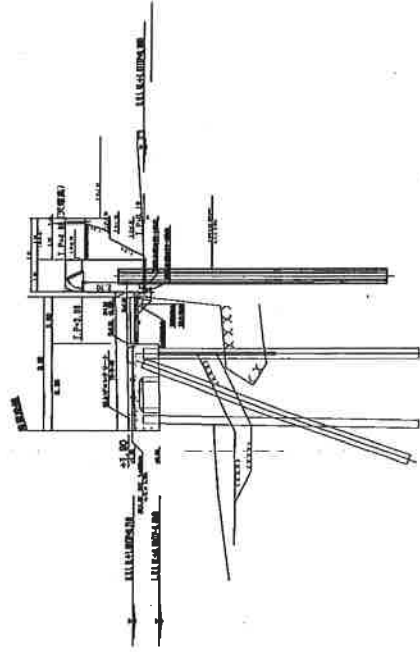
当初



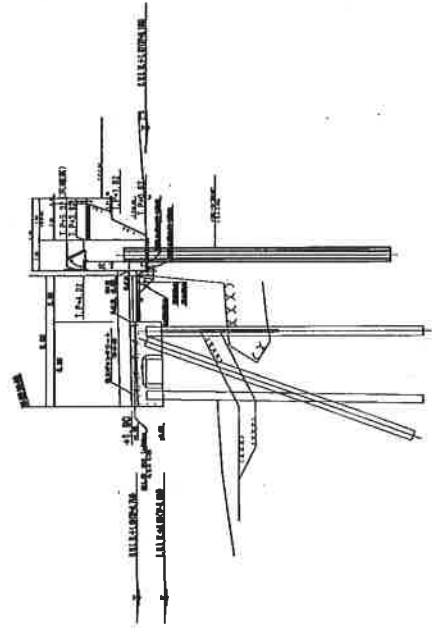
H29.3.17 岸壁嵩下げ、地盤隆起考慮(新基準点表記)



H29.11.1 岸壁嵩下げ、地盤隆起考慮(旧基準点表記)



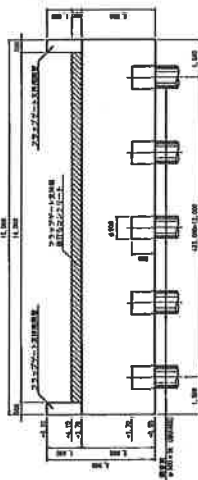
出来形(新基準点で計測)



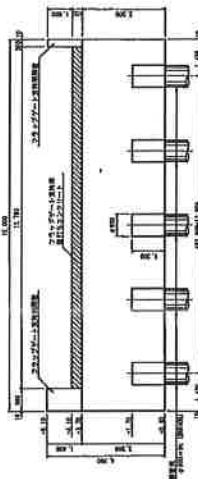
図名	架橋標準断面
図号	架橋標準断面図
作成者	平塚建設 橋梁 架橋課
工事名	架橋標準断面図(橋脚外工事)
設計者	橋梁課
設計者	T.P.
縮尺	1:150
図番	

正面図 S=1:100

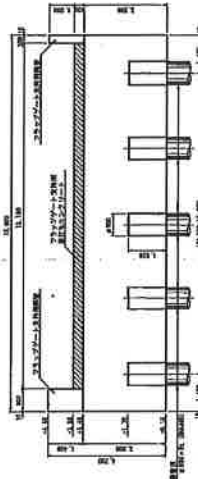
当初



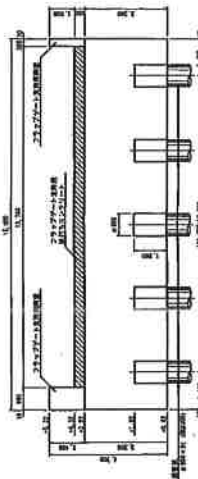
H29.3.17 土壌著下り、地盤隆起考慮(新基準点巻戻)



H29.11.1 土壌著下り、地盤隆起考慮(旧基準点巻戻)



出来形(新基準点で計測)



図名	気仙沼港
場所	気仙沼市高町地内
工事番号	平成27年度 港湾 調査費第一A11号
工事名	気仙沼港 開港地区の清瀬外工事
製図名	正面図
製図者	T.P
縮尺	1:100
製図日時	
図	名 録 紙